

# The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

April  
ISSUE



April, 2024  
Volume 144

## 新年度にあたり

本年4月から同志社大学附属同志社国際学院初等部・国際部の校長を務めさせていただくことになりました同志社大学理工学部インテリジェント情報工学科の土屋誠司です。大学では、最近流行りの人工知能の研究をしています。その一環として、すでになくてはならないものとなりました情報技術について、若いころから触れて、知って欲しいとの思いから、小学生から読める絵本や中学生から大人までを対象とした書籍などを執筆させていただいたこともあります。学校の図書館にも置かせていただきましたので、機会がありましたらお手にとっていただけましたら幸いです。

日ごろは大学生を相手にしていることから、この度は、約40年もの遙か昔の記憶を呼び起こし、イメージしながらDIAの門をくぐりました。私が小学生だったころと同じイメージのこともありましたが、まったく異なることも非常に多くありました。その一つが、国際学院の売りである国際色豊かな環境です。日本出身の先生や海外出身の先生など、様々なバックグラウンドをおもちの先生が多く、全国でも非常に珍しい環境でした。ここDIAは、今後の未来を創っていく児童の皆さんにはかけがえのない経験になるに違いないと実感いたしました。

人工知能が急速に発展している過渡期において、未来を知らない大人が、未来を歩んでいく児童をどのように導いていったら良いのかは難しい問題だと思います。しかし、これは今に始まったことではなく、歴史はそれを繰り返し、自分たちの世代ではできなかったことを反省し、次の世

代に託して、脈々と続いて来たのだと思います。そして、私もまた、その一部となり、これからも続いていくことと思います。歴史の一コマになれることを嬉しく感じながらも、大人として大きな責任をも感じる所存です。

私は小学生のころから多くの人と共存できる常識を持った人工知能の研究がしたく、現在に至っています。私が大学に入学する時には、人工知能はブームが去った後で進路指導の先生からも人工知能を研究する意味はこれから先はないと言われました。あまのじゃくな私は、それでも良いと今の道を選びました。正直、それで良かったと思っています。本当に未来はどうなるか分かりません。ただ、言えることは、後悔はしたくないということです。それは、国際学院の児童の皆さんにもそうあって欲しいと思います。学校で勉強をし、友達ができ、楽しく通う。でも、時には、喧嘩をしてしまったたり、辛い思いをしてしまったたりすることがあるかもしれません。その時は、私たち教員一同、児童がまた元気に通えるようしっかりと指導にあたります。しかし、教員だけでは限界があるのも確かです。是非、保護者・ご家族の方々からのお力添えをいただきたく思います。学校、家庭、そして地域が共に機能してこそ、子供たちにたくさんの笑顔が届けられるのだと思います。何卒、よろしく願いいたします。

私たちが知らない未来を生きていく子供たちが、笑顔で、そして、その未来の世界を生き抜いていくための力を身につけていただけるように。

校長 土屋 誠司



## キリスト教 教育テーマ 4月：希望 April：Hope

「わたしの目にあなたは値高く、貴く  
わたしはあなたを愛し あなたの身代わりとして人を与え  
国々をあなたの魂の代わりとする。  
恐れるな、わたしはあなたと共にいる。…」

(イザヤ書 43 章 4-5 節 日本聖書協会 新共同訳)

上記の聖書箇所は過去 10 年間、別の聖書箇所と交替で初等部の誕生日礼拝に取り上げてきたものですが、先月行われた卒業式後の謝恩会では、ここを卒業生への贈る言葉に選ばせていただきました。

誰かが自分の価値を認めて無条件に愛してくれている、という感覚は、その人が生きていく上での大きな安心であり、原動力です。この「愛されている」という感覚を最初に与えてくれる相手が家族であり、次は友人や恩師の存在でありましょう。

しかしながら、時にはこの感覚が全く無くなるとまではいかななくても、非常に薄れてしまうことがあるのも事実です。つまり、相手は「何らかの利用価値がある自分」には興味・関心を持ってくれるが、そうでなくなった場合、あるいは長いスランプに陥った場合に、もはや以前と同じように愛してくれていないのではないか…という不安に駆られてしまうのです。そういう時は自己肯定感が極めて低いので、毎日普通の生活を送るだけでも息切れがしてしまうものです。

よく、キリスト教教育と道徳教育を同一視する考え方がありますが、キリスト教教育にとって最も大切なのは、「たとえ家族や友人がこのわたしを見捨てようとも、絶対にわたしを見捨てずに愛し通してくださる方がいる。」というメッセージを知らせることです。何があっても裏切らない方、誰が何と言おうと「私の目にあなたは値高く、貴い。」と聖書を通して語りかけてくださる方の存在を知り、強い自己肯定感を持って生きていくこと、それができて初めて、「わたしを愛してくださる神を悲しませてはいけない。」「私と同じように神に愛されている大切な人として、誰かの尊厳を守らねばならない。」という、道徳を超えた本物の良心が育つのです。

今年 3 月 24 日日曜日は「棕櫚の主日」(英語では Palm Sunday) といって、十字架に架けられる前にイエス・キリストが「平和の君」としてエルサレムに入城されたことを記念する日でしたが、初等部では春休みのため、冬学期に 2 年生の宗教の授業中に行いました。各々色画用紙で棕櫚の葉を作り、こどもさんびか「ダビデのこ、ホサナ」を歌いました。子どもたちの笑顔が印象的な一日でした。

Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓



2 年生の宗教授業にて (2023 年度) ①

Bernard Plockhorst (1825-1907) 画

2 年生の宗教授業にて (2023 年度) ②

<お知らせ>

- ① 2023 年度の「おにぎり献金」の寄付先と献金額の報告は、春学期中にこの欄にてお知らせ致します。
- ② 2023～2024～2025 年度の「おにぎり献金」は昨年度の寄付先に加え、以下の被災地を検討しています。
  - ・ガザ人道危機 (日本ユニセフ協会)
  - ・北陸学院キリスト教センター (石川県能登半島地震支援金口)

皆さまの温かいご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 第6回 DIA チャリティーラン／ウォーク

### 2015 年度に始まりました

2年生は、2月にチャリティーラン／ウォークを行いました。8年前に3年生の学年懇親会として始まったこの活動は、5年前に復活し、コロナ禍で2回のオンライン開催を経て、今年度は第6回チャリティーランとして2年生が取り組みました。

これまでに、盲導犬協会、日本ライトハウス、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会に寄付してきましたが、ここ数年はDIAがパンの販売でお世話になっている相楽デイセンターの方々に収益金をご活用いただいています。

### みんなの頑張りを届けよう！

今年度は中庭ではなく体育館を20分間走りました。2年生の親子50家庭でなんと2,886周も走り、1周20円を寄付の目安として、総額58,500円もの寄付が集まりました。子どもたちは最後の1秒まで走り切り、おうちの方々も歩いたり走ったり周数を数えたりしながら汗だくで参加してくださいました。

今年度も子ども達の頑張りを必要とされるところへ届けることができ嬉しく思います。



### キリスト教主義の学校として

相楽デイセンターでは、障がいのある利用者の方々とスタッフの方々が、一緒に働かれています。チャリティーランの収益金を持って行きましたところ、永井施設長の号令で集まってくださり賑やかに記念写真を撮りました。

DIAでは普段よりおにぎり献金として寄付活動を行っています。今後もDIAという枠を超えたこのような活動ができればと思っております。



あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。ペトロの手紙Ⅰ 4:10



# からのおしらせ

## あたらしい毎日のはじまり

ご入学、進学おめでとうございます。  
 新しい環境での生活に、わくわくや不安がいっぱいの今、ぜひ手に取ってほしい本のご紹介です。主人公と同じ気持ちになって、読んでみてください。

### 『ソフィー、がっこうへいく』パット・ジトロロー・ミラー文 二宮由紀子/訳 光村教育図書



きょうからソフィーは1年生。  
 ママやパパは、学校はたのしくておもしろいところだって言うけれど、全然そんなふうには思えません。  
 友だちともあそぼうとしないソフィーでしたが、パパから「友だちとは、好きなものを一緒に好きになってもらえるひと」と聞き……。  
 ソフィーは考え抜いた末、あるすてきな方法にたどり着きます。

### 『ぼくとがっこう』谷川俊太郎/文 アリス館



学校へいきはじめたばかりの「ぼく」。  
 学校はうちじゃない。  
 先生はおかあさんじゃない。  
 なじめない中で、少しずつ自分の見たいもの、感じたいものを見つけ、いろいろな日々の中で成長していく。  
 やがて学校を離れる日がきて…

### 『えらいこっちゃんのいちねんせい』かさいまり/文

アリス館



1年生になったばかりのぼく。  
 学校は、やることも時間も決まっている！  
 初めての勉強、休み時間、給食……。  
 「えらいこっちゃん」とつぶやきながら、困難に立ち向かっていくお話。  
 新入学にぴったり！

### 『となりのアブドラくん』黒川裕子/著 講談社



自分の趣味を人に知られたくない、悩める小6男子。  
 ある日、日本語を話せないパキスタンからの転校生のお世話係にさせられたのだけれど……。  
 その子は、宗教が違うし、文化も、見た目もちがう。そもそも、うまく話が通じないのに、どうやってわかり合うんだよ？  
 ひとつひとつ大切なことに気づかされる、さわやかでワクワクがいっぱいのお話です。

## 4月の主な行事・予定

3月21日～4月7日 春季休業日		
5	金	編転入生オリエンテーション/ Orientation for transfer students
6	土	
7	日	
8	月	Unit1(week1)始業礼拝(午前授業)/ Opening worship service
9	火	
10	水	入学式/ Entrance Ceremony G1 オリエンテーション期間(17日まで) /Orientation period
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	Unit1(week2)
16	火	
17	水	
18	木	避難訓練/ Evacuatin Drill, G5 コミュニケーションタイム/ G5 Communication Time
19	金	G6 参観・コミュニケーションタイム/ G6 Communication Time, G6 進学説明会 /Explanatory MTG of the recommendation
20	土	
21	日	
22	月	Unit1(week3)G4 コミュニケーションタイム/ G4 Communication Time 通学班ミーテ ィング Commuting MTG
23	火	避難訓練(予)、G3 コミュニケーションタイム/ Reserve day for Evacuation Drill / G3Communication Time
24	水	G2 コミュニケーションタイム / G2Communication Time
25	木	G1 コミュニケーションタイム・交通安全教室/ G1Communication Time Traffic Safety Guidance
26	金	健康診断/Health check up
27	土	
28	日	
29	月	昭和の日/ Showa day
30	火	

## 5月の主な行事・予定

11日(土)	土曜参観・全体コミュニケーションタイム
15日(水)	午前中授業
17日～23日	中間カンファレンス
21日(金)	学校説明会